

平成20年3月期 中間決算説明会

平成19年11月22日



イメージ情報開発株式会社



- I . 会社概要
- II . 中間決算概況
- III . 上期総括 & 今後の方針



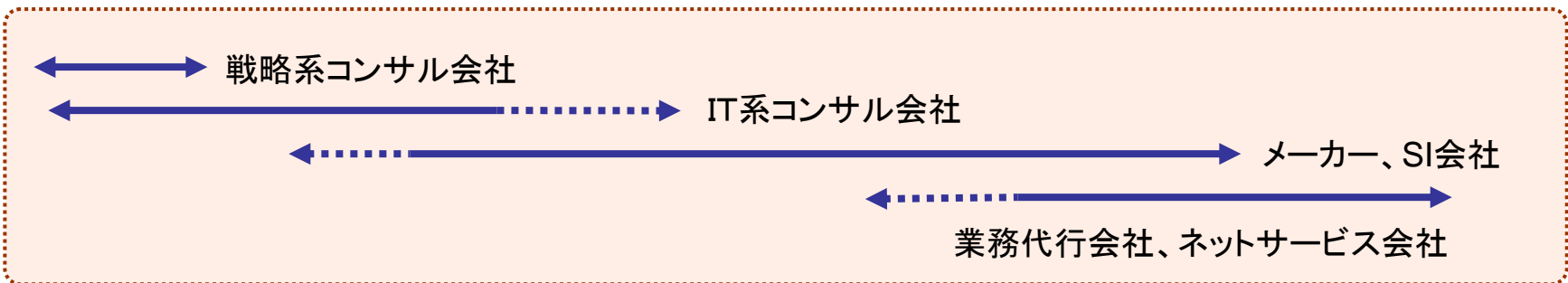
I. 会社概要

【設 立】	昭和50年10月
【代 表 者】	代表取締役社長 代永 拓史
【資 本 金】	4億6,705万円
【事 業 内 容】	情報システムの企画・開発、保守・管理運営
【従 業 員】	74名（平成19年9月現在）
【決 算 期】	3月末
【本社所在地】	東京都港区芝大門2-10-12
【事 業 所】	名古屋営業所 名古屋市中区錦3-1-30

情報サービス業界において、IT戦略からシステムの設計構築・運用保守・業務処理までの総合的サービスにより、企業のIT戦略パートナーとしてビジネスを支援します。



他社との比較



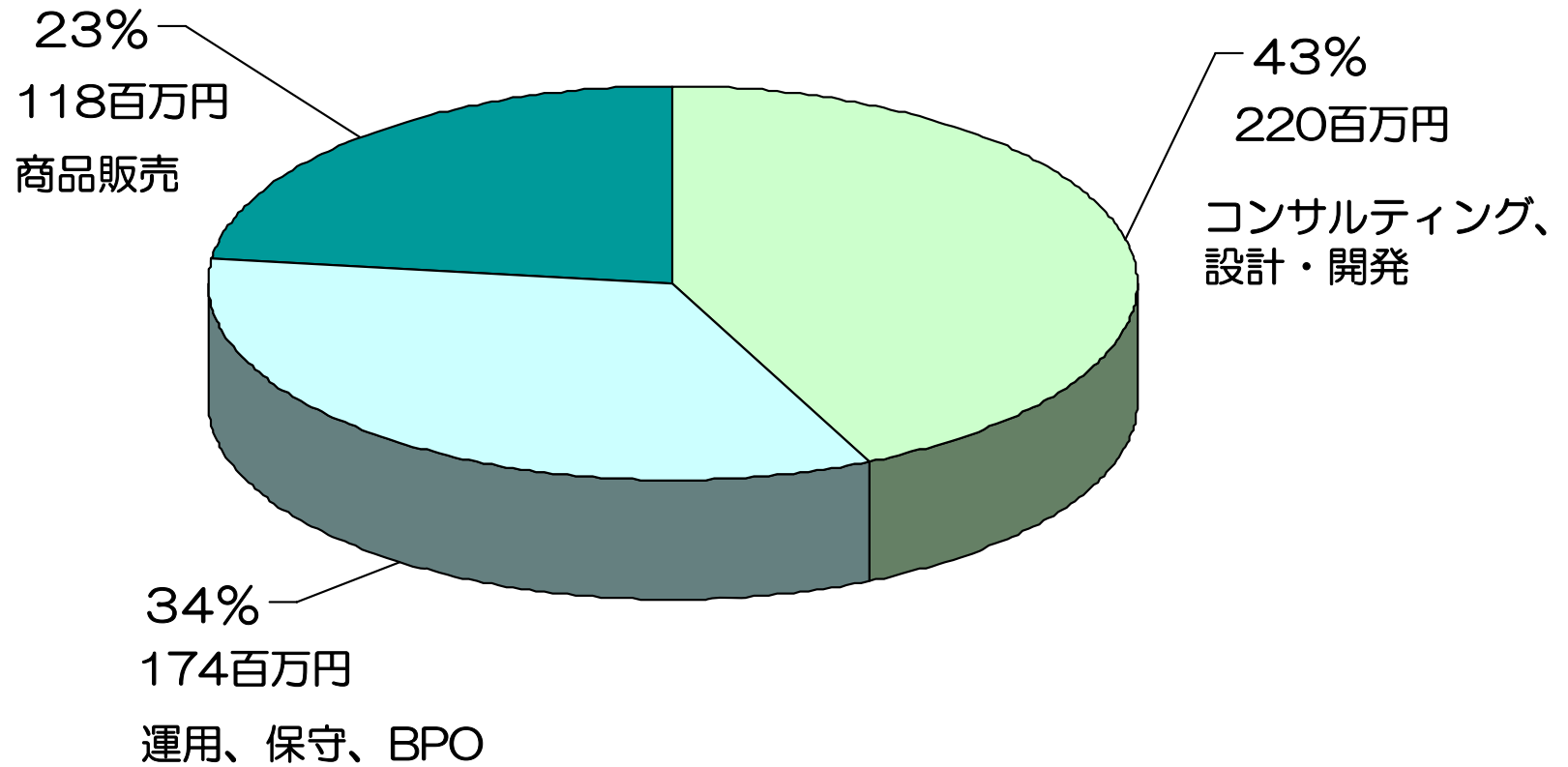


Ⅱ. 中間決算概況

■ 前年同期比で売上32%増、経常利益82百万円増(黒字化)

(千円)	19/3中間期	20/3中間期			
	実績	計画	実績	計画比	前年比
売上高	388,267	550,000	512,733	93.2%	132.1%
営業利益	△60,983	10,000	10,913	109.1%	-
経常利益	△69,327	10,000	12,625	126.3%	-
特別利益	7,896	55,000	63,255	-	-
特別損失	1,069	0	26,840	-	-
当期純利益	△37,062	65,000	48,631	74.8%	-

- ✓ 既存顧客案件、新規顧客案件の受注と実施が堅調に推移
- ✓ 本社移転保証等による特別利益
- ✓ 投資有価証券評価損による特別損失



(千円)	19/3期	19/9期	前期比
流動資産合計	1,223,369	1,194,800	97.7%
固定資産合計	192,697	203,861	105.8%
資産合計	1,416,067	1,398,661	98.8%
負債合計	294,457	281,530	95.6%
資本合計	1,121,609	1,117,131	99.6%
負債及び資産合計	1,416,067	1,398,661	98.8%

- ✓ 流動資産：現預金増 29百万、売掛金減 51百万、他
- ✓ 固定資産：有形固定資産増 35百万、投資有価証券減 27百万、他
- ✓ 負債：買掛金減 30百万、前受金増 7百万、他
- ✓ 資本：利益剰余金増 22百万、自己株式取得による減 25百万

(千円)	18/9期	19/9期	コメント
営業活動によるCF	△141,715	126,824	税引前中間純利益の発生(49百万円) 移転補償金の受取額(56百万円)
投資活動によるCF	△444,456	△46,436	有形固定資産取得による支出(42百万円)
財務活動によるCF	724,161	△51,765	自己株式取得による支出(25百万円) 配当金の支払(26百万円)
現金及び現金同等物の 増加額	137,989	28,622	
現金及び現金同等物の 期末残高	599,837	478,105	

Ⅲ. 上期総括 & 今後の方針

■ 平成20年3月期の方針 → 事業拡大に向けた基盤構築

- ✓ 売上・利益予算に対する確実な実施、黒字化
- ✓ IT支援サービスの拡大
- ✓ 団体向けサービスの拡大
- ✓ 非接触光書込技術によるビジネスの立上げ

■ 実績



全体管理

- 内部営業管理・プロジェクト管理の強化、増収・黒字化の見込み
- 事業拡大に向けた本社移転を実施（新橋→浜松町）
- △ 特定顧客依存度の低減、月次売上の平準化

IT支援サービスの拡大

- 規既存顧客、新規顧客案件の受注
- 物流システムの開始

中期成長戦略における営業展開

- 商店街等の契約団体数の増（20団体）
- 非接触光書込技術の立上げ

■ 下期重点施策

内部管理の継続強化

営業管理、プロジェクト管理
人材採用、育成

非接触光書込み技術のビジネス推進

量産品の開発（11月に定款変更）
営業強化（直販営業、アライアンス）

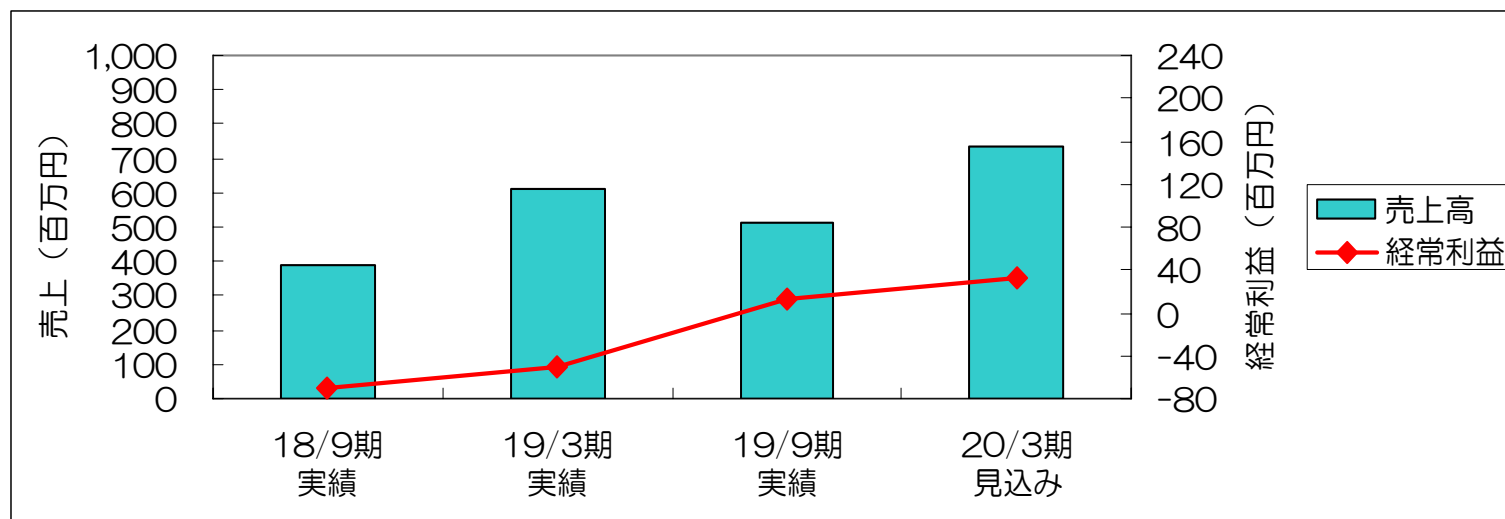
IT支援の来期見込み確定

来年度下期の柱となるIT支援プロジェクトの受注

■ 対前年比25%の増収、黒字化を計画

(千円)	19/3期 実績	20/3期	
		計画	前年対比
売上高	998,900	1,250,000	125.1%
営業利益	△ 112,458	45,000	-
経常利益	△ 119,743	45,000	-
純利益	△ 182,508	100,000	-

<半期売上/経常利益の推移>



■ 昨年度、理化学研究所と共同開発、製品化・事業化で提携

<技術概要>

半導体レーザーを用い、リライト紙に非接触にて文字やバーコード等の書込み、追加書込み、消去を行う技術

<応用分野>

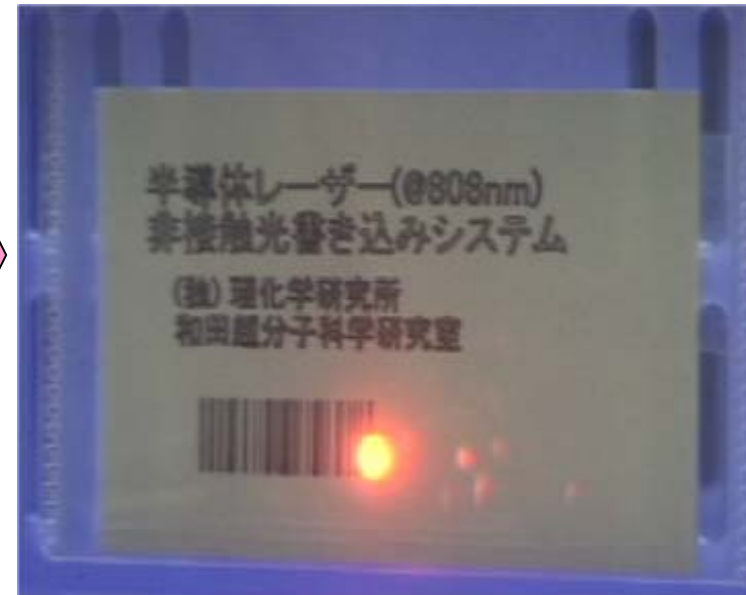
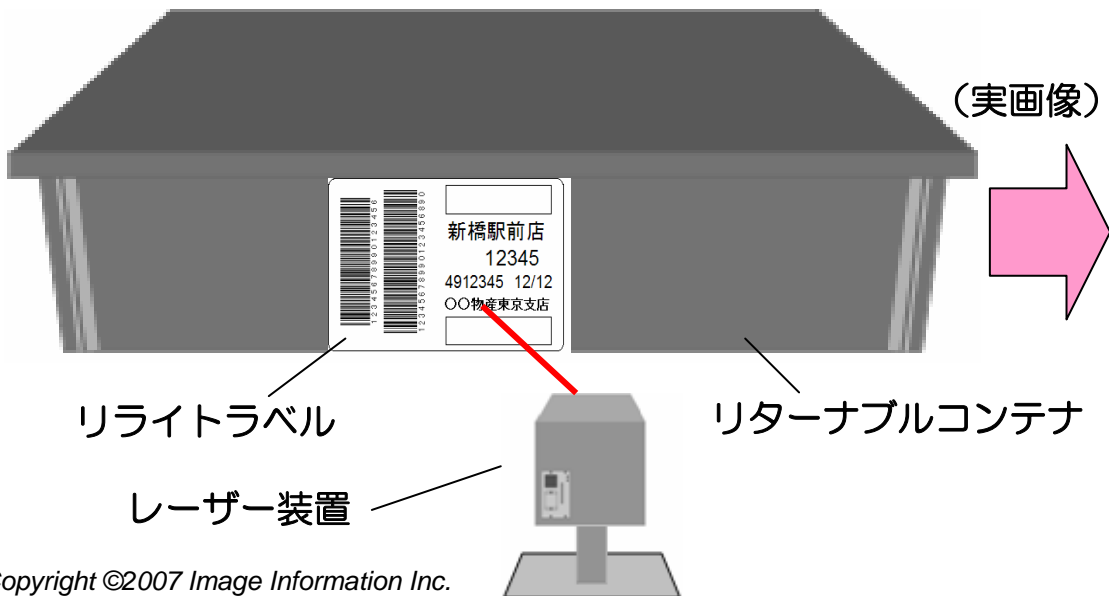
ラベル、カード、伝票などへさまざまな応用が可能

◇ 物流分野、製造分野等、履歴やトレース情報を記載可能なリライトラベル

◇ RFタグやバーコード等との併用

◇ ポイントやプリペイドなど、カード分野における、繰り返し使えるリライトカード

■ リライトラベルへの非接触での書込・追記イメージ



■ リライトカード分野

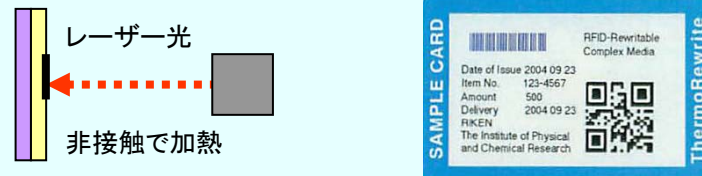
従来の接触式書込リライト

- ・保護層の厚みに制約がある
- ・接触式の為に書込み・消去ごとに表面の傷が発生
- ・印字の消え残りが発生
- ・接触によるリライト層の経年変化

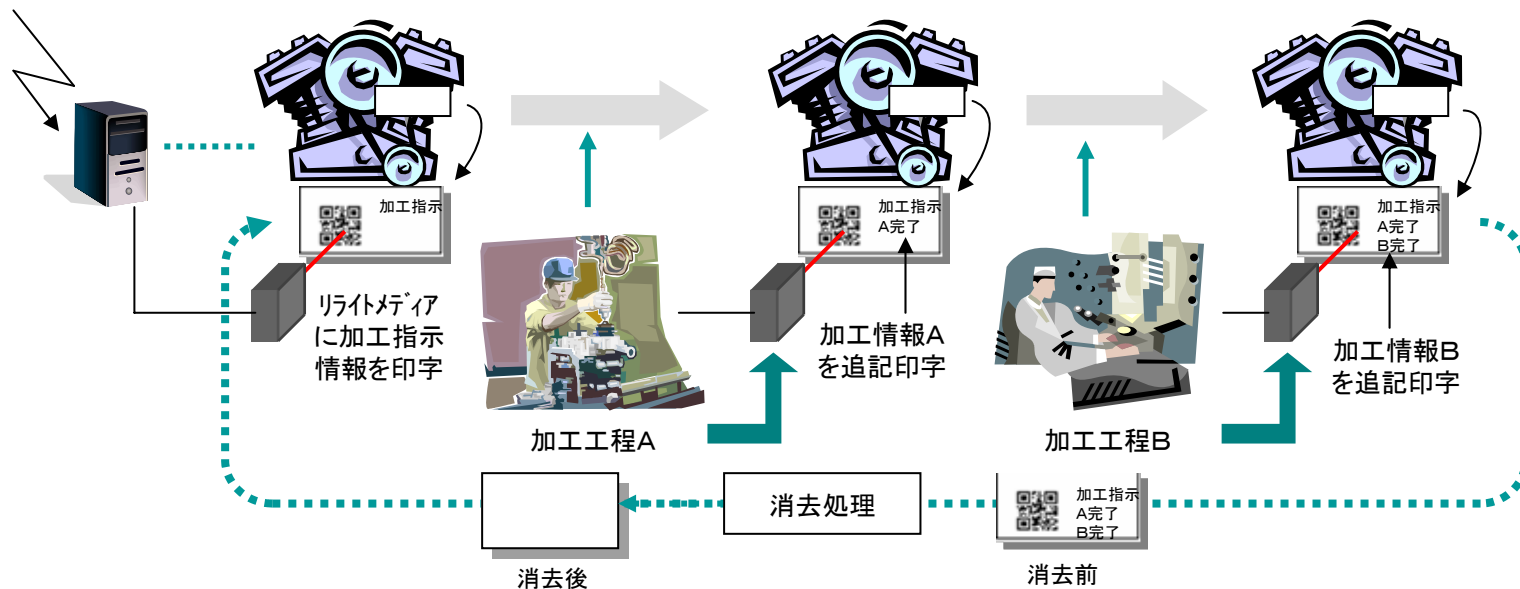


非接触式書込リライト

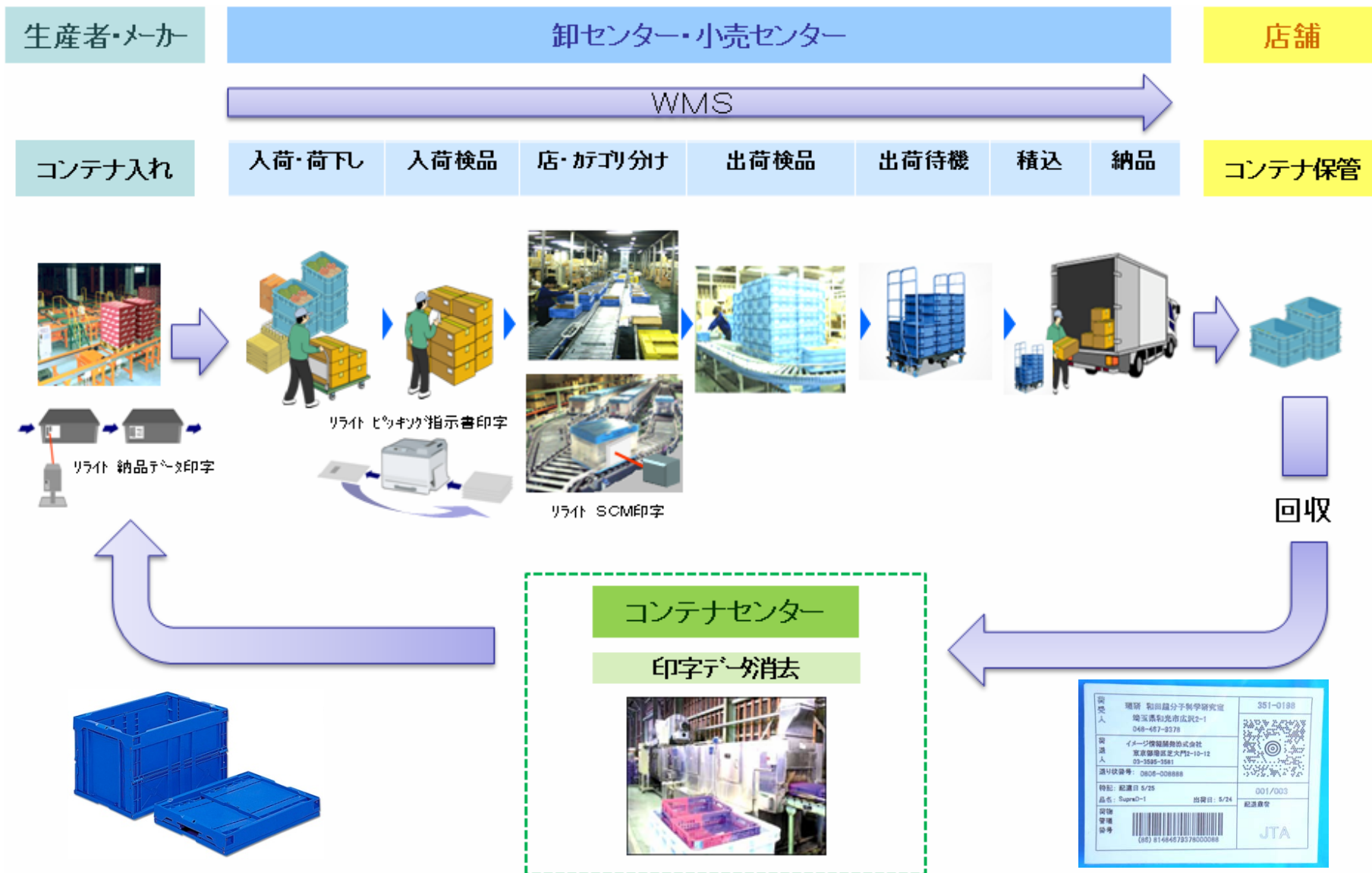
- ・保護層の厚みに制約が無い
- ・非接触式の為に書込み・消去時に表面に傷は発生しない
- ・印字の消え残りが発生しない
- ・非接触によるリライト層が安定



■ 製造分野（追記機能による製造・加工指示、トレース印字）

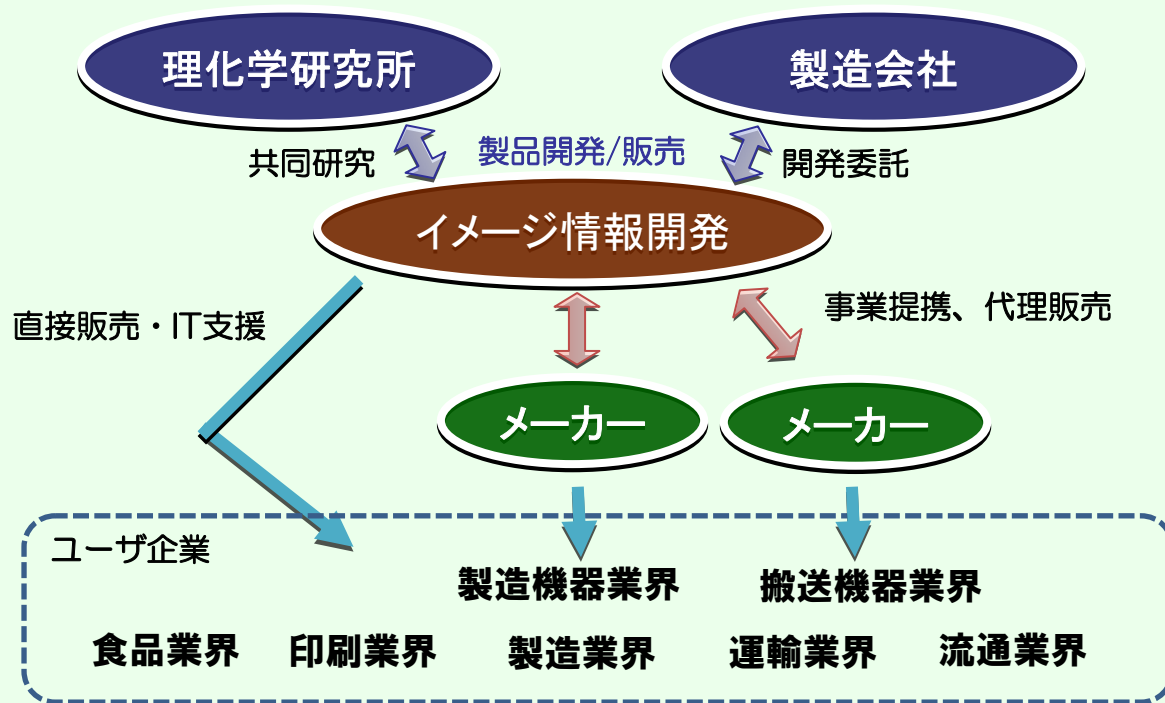


流通分野（リターナブル容器+リライトカードによる管理システム）

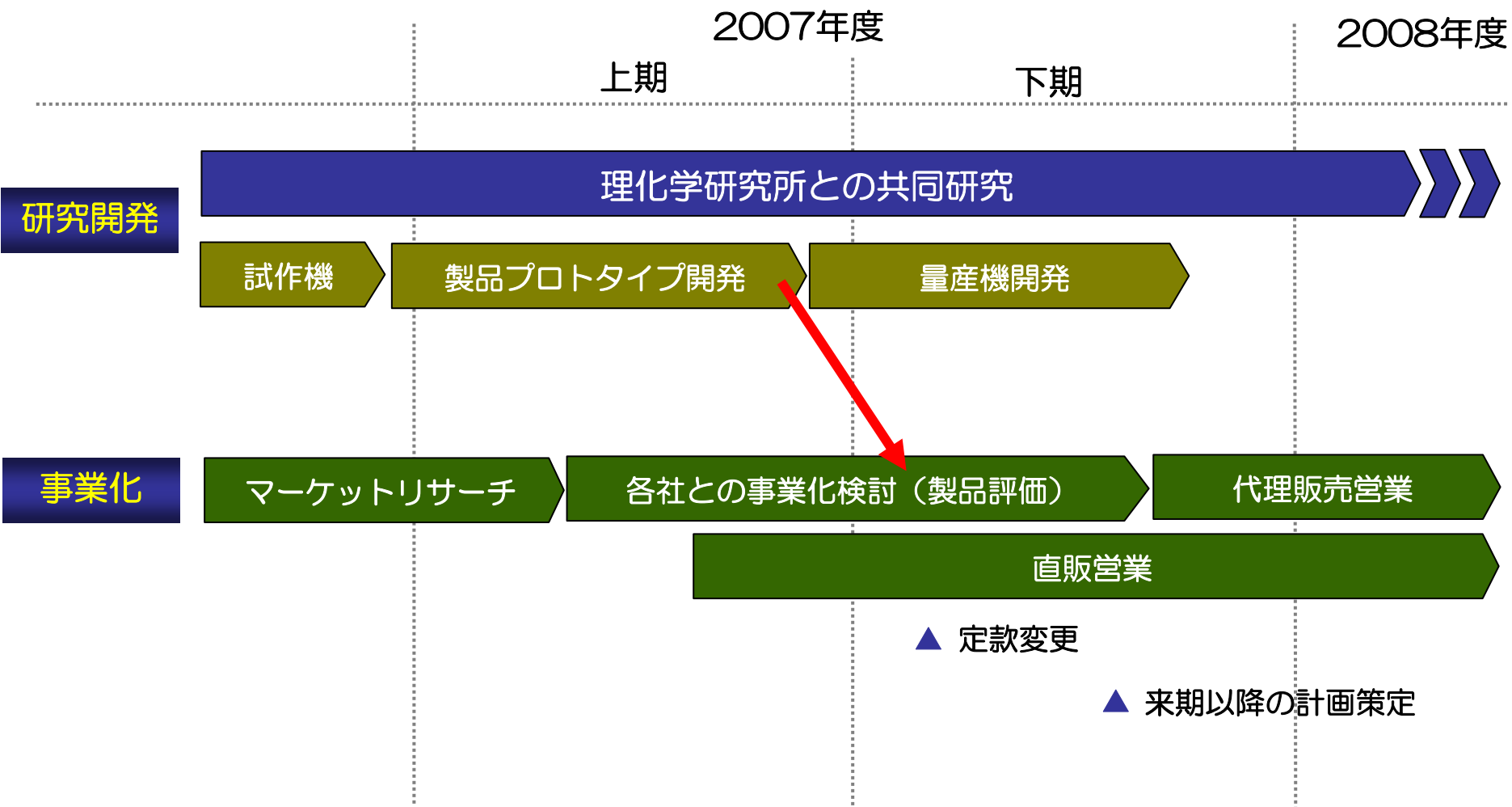


■ 事業化計画

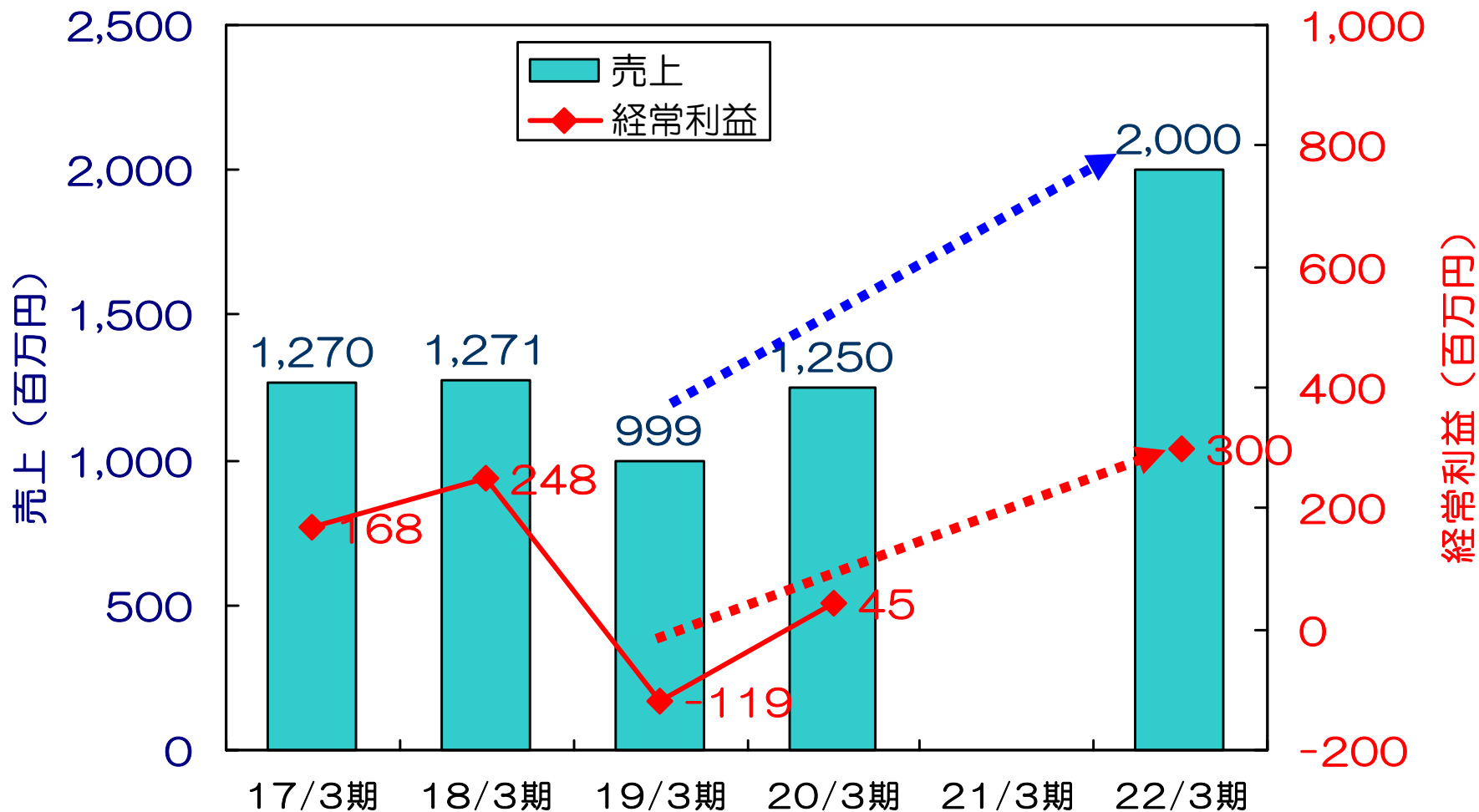
- 理化学研究所との共同研究
- 当社での製品開発・販売（製造は製造会社に委託）
- 製造機器、搬送機器等のメーカーと提携、メーカーによる代理販売
- ユーザ企業への直接販売



■ 事業化スケジュール



■ 本年度からの3ヶ年計画。22年3月期に売上20億、経常利益3億円



担当窓口：経営管理部 小宮山 久和
TEL：03-5733-6014
FAX：03-5733-6038
メール：ir@image-inf.co.jp
URL：http://www.image-inf.co.jp

本資料には、将来の業績に関する記述が含まれておりますが、今後の経済動向、その他の社会・政治情勢など様々な要因により、記述されている将来予想とは異なる結果となる可能性があることをご留意ください。